

令和8年度静岡県地球温暖化防止活動知事褒賞について (募集要項)

静岡県では「静岡県地球温暖化防止条例」に基づき、地球温暖化防止に顕著な功績をあげた個人や団体を知事が表彰しています。

令和8年度の地球温暖化防止活動知事褒賞の募集を行いますので、お知らせします。

1 表彰対象

- ・下表の各部門のいずれかで顕著な功績をあげた個人、事業者、団体及び学校等が対象です。
- ・全ての部門・部において、**静岡県内で活動している**ことが条件です。
- ・過去に応募した活動を再度応募することも可能です。その際は内容を最新の情報に更新してください。
- ・同様の功績により過去に知事褒賞以上の表彰（国・県が行う大臣表彰・知事表彰等）を受けている場合は、表彰の対象外となります。

部門	部	対象者の説明	基準
削減対策部門 温室効果ガス排出	大企業等の部	下記※の基準を両方超える者 (以下「大企業等」という)	・温室効果ガスの排出を低減する技術の開発・製品化、省エネルギーの新たな環境マネジメントシステムの構築等に関する功績 ・温室効果ガスの排出を低減する技術・製品等の先導的導入や普及啓発等に関する功績
	中小企業等の部	大企業等を除く事業者 (中小企業、個人事業主及び事業協同組合等を含む)	
啓発部門 地球温暖化防止普及・	学校等の部	幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学、高等専門学校、保育所、認定こども園	・地球温暖化防止に関する教育・実践活動や普及啓発等に関する功績
	個人・団体の部	個人及び団体	・地球温暖化防止に資するライフスタイル実践や地球温暖化を防止する活動の実践等に関する功績 ・地球温暖化防止について、学校や地域住民に対する教育・実践活動や普及啓発等に関する功績

※ 大企業等の基準

区分	主たる業種	資本金の額又は出資金の額	常時使用する従業員数
会社	製造業、建設業、運輸業その他	3億円	300人
	卸売業	1億円	100人
	サービス業	5千万円	100人
	小売業	5千万円	50人
会社以外		—	300人

2 応募方法

- ・自薦・他薦は問いません。他薦の場合は、市町（地球温暖化対策担当課）又は別紙の静岡県地球温暖化防止県民会議の構成団体からの推薦となります。
- ・応募は、様式第1号又は様式第2号に必要事項を記入し、補足資料とともに
令和8年11月20日（金）まで（必着）に電子メールにて送信してください。

※メール件名は「【氏名又は団体名】令和8年度知事褒賞応募」としてください。

※応募書類をメール送信後は、必ず環境政策課へ電話で御連絡ください。

※メール送信が難しい場合は郵送も可能です。郵送前に必ず電話で御連絡ください。

＜提出先＞ 静岡県くらし・環境部 環境局 環境政策課 地球環境班
〒420-8601 静岡市葵区追手町 9-6
TEL：054-221-3781 FAX：054-221-2940
E-mail：kankyou_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

なお、応募用紙は、静岡県ホームページからダウンロードできます。

(<https://www.pref.shizuoka.jp/kurashikankyo/kankyo/ondanka/1016075.html>)

3 受賞者選考方法

選考委員会による審査を経て、くらし・環境部長が決定します。

4 今後のスケジュール

- ・募集締切 …令和8年11月20日（金）（必着）
- ・受賞者決定・公表 …令和9年1月中旬
- ・表彰式 …令和9年2月上旬

5 応募に当たっての留意事項

- ・取組内容が、自らの施設の温室効果ガス排出削減対策に該当する場合は様式第1号（温室効果ガス排出削減対策部門）を、地球温暖化防止の普及啓発等に該当する場合は様式第2号（地球温暖化防止普及・啓発部門）を使用してください。
- ・活動に複数の団体に関わる場合は「活動主体の概要」に代表となるグループを記載するか、連名で記載してください。
- ・様式とともに、活動の様子や内容が分かる補足資料をデータで添付してください。

6 その他

- ・応募者には、選考結果を連絡します。なお、審査内容の詳細、審査結果等に対する異議申立ては受け付けません。
- ・応募書類は返却しません。
- ・受賞者は、気候変動アクション環境大臣表彰の候補として推薦します。
- ・応募用紙に記載された個人情報、静岡県個人情報保護条例に基づき、この賞に関する事務連絡や審査のみに使用します。受賞者の情報は、気候変動アクション環境大臣表彰等の情報提供に使用場合があります。

<静岡県地球温暖化防止県民会議構成団体一覧>

団体名
<県民・事業者団体等（26）>
エネルギー管理指定工場連絡会静岡地区会
一般社団法人静岡県 LP ガス協会
静岡県ガス協会
一般社団法人静岡県環境資源協会
静岡県漁業協同組合連合会
一般社団法人静岡県経営者協会
公益社団法人静岡県建築士会
公益財団法人静岡県産業振興財団
公益社団法人静岡県産業廃棄物協会
公益社団法人静岡県私学協会
静岡県森林組合連合会
一般社団法人静岡県商工会議所連合会
静岡県商工会連合会
静岡県消費者団体連盟
静岡県生活衛生同業組合連合会
静岡県石油商業組合
静岡県中小企業団体中央会
静岡県電機商業組合
一般社団法人静岡県トラック協会
静岡県農業協同組合中央会
一般社団法人静岡県バス協会
一般社団法人静岡県フロン回収事業協会
一般社団法人日本自動車販売協会連合会静岡県支部
公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構
中部電力株式会社静岡支店
東京電力パワーグリッド株式会社静岡総支社
<行政機関・団体（7）>
静岡県
静岡県教育委員会
静岡県地球温暖化防止活動推進センター
静岡県市長会
静岡県町村会
静岡市
浜松市

＜参考＞過去５年の受賞活動 *受賞者敬称略
令和７年度受賞者

部門		受賞者	事例概要
温室効果ガス排出削減対策部門	大企業等の部	テルモ株式会社 愛鷹工場	蒸気漏れの改善や放熱ロス削減対策のほか、エアー漏れ・放熱箇所の可視化やヒートポンプ導入、給水タンク送受水システム化等、徹底した無駄の削減により年間 458t-CO ₂ もの大幅な排出削減を実現。社内推進委員会を通じて従業員が自主的な改善活動を展開し、他事業所への横展開も実施している。
	中小企業等の部	株式会社 藤枝農産加工所	省エネポテンシャルが大きい蒸気に着目し、社長自らの設備設計により蒸気排気ピット内に配管を設置して回収した熱を殺菌工程やバイオマス設備における微生物活性化に利用し、工場全体で廃熱の有効利用を実現。独自の省エネ技術は汎用的に活用でき、セミナー等を通じて広く情報共有し、製造業全体の効率化にも寄与している。
地球温暖化防止普及・啓発部門	学校等の部	御殿場市立 西中学校	30 年以上に渡り、ライオンズクラブと協力し富士山五合目周辺で毎年数百本のバッコヤナギを植樹するほか、地元中畑愛郷会の協力による森林整備の体験学習など、地域団体と協働した木育・森づくり活動を実施。R7 年度からは、地域住民とともにクヌギの植樹による森林づくりを通じ地球温暖化防止活動と人づくりを一体化した取組を地域全体に広げている。
	個人・団体の部	株式会社 アサギリ	下水汚泥・食品残渣・畜ふんなど有機性廃棄物の焼却由来 CO ₂ を回避し堆肥として再資源化する事業を展開し、多様な分野の事業者・自治体との連携により地域内で資源と炭素を循環させる地域循環共生圏モデルを構築。また、施設見学や、小学生への授業、イベントへの参加を通じて循環型資源利用を学ぶ機会を広く提供している。

令和 6 年度受賞者

部門		受賞者	事例概要
温室効果ガス排出削減対策部門	大企業等の部	スズキ株式会社	バイオマス樹脂を自動車部品に実装することにより、自動車メーカーとして初めてバイオマスマーク認定を取得。石油資源の節約・CO ₂ 排出削減に貢献した。また、自動車内外装部品等へのセルロース樹脂活用に向け、県下の成形メーカー等を対象に、セルロース樹脂製部品の量産金型を使った試作を行い、技術習得を促した。実用化した場合は業界初となる見込みである。
	中小企業等の部	山一金属 株式会社	電力使用量やCO ₂ 排出量を大幅に削減する独自のアルミ缶リサイクル技術を有する。また、2026 年度の CO ₂ 排出量ゼロを目指し、自社工場の一部でオフサイト PPA による非化石価値付きの電力使用を開始するとともに、静岡銀行との間で締結した寄贈型ポジティブ・インパクト・ファイナンスを活用し、「高校生夢実現プロジェクト」などの地域貢献活動を行った。
地球温暖化防止普及・啓発部門	学校等の部	静岡県西遠 女子学園 インター アクト部	様々な地元企業と連携し、規格外の農作物を有効活用する取組を進め、食品ロス削減や地球温暖化防止の啓発に貢献した。地元企業の野菜粉末化技術を活用し、規格外の農作物を使ったクッキーやスコーンを開発するとともに、地域のイベント等でのこれら商品の販売や、地元小学生向けのエコクッキング（料理教室）開催を通じ、食品ロス削減に向けた啓蒙活動を展開した。
	個人・団体の部	特定非営利 活動法人 Earth Communication	御前崎市の久々生海岸と、その海岸に自生群生するアマモの保全活動、環境学習活動を継続的に実施。大学や研究機関等と連携した調査・研究活動や、定期的な保全活動などの結果、アマモ場の群生域が拡大し、ブルーカーボンによる CO ₂ 吸収源として貢献。（J ブルークレジットの認証取得）また、企業や自治体と連携した体験プログラム等人材育成活動にも取り組んだ。

令和5年度受賞者

部門		受賞者	事例概要
温室効果ガス排出削減対策部門	大企業等の部	小野薬品工業株式会社 フジヤマ工場	工場内に700点以上のエネルギーデータ（電力、熱量、蒸気）収集ポイントを設置し、エネルギーロスの毎日の把握、省エネポテンシャルの抽出を実施。分析結果を全従業員に共有し、削減効果を金額ベースで公開することで意識の向上につながり、設備の運用改善等の取組が大幅に進んだ。
	中小企業等の部	三恵株式会社	樹脂部品等の材料の射出成形機の電動機化により電気使用量を削減したほか、遮熱シートを使用した設備の放熱ロス対策や井戸水を活用した工場空調への切替などを実施。生産性を向上しつつCO ₂ 排出量の大幅な削減を達成している。
地球温暖化防止普及・啓発部門	学校等の部	公立大学法人静岡文化芸術大学 カスから生まれるプロジェクト	従来廃棄されてきたコーヒーの果肉を使った商品「カスカラティー」を開発・販売。国際協力を学ぶ学生が生産者と輸入交渉をし、経営学を学ぶ学生が県内企業から加工技術を学び、デザインを学ぶ学生がパッケージ等を作成。また、販売利益は熱帯雨林保護活動に充てるほか、出前授業などの啓発活動にも取り組んでいる。
	個人・団体の部	「エコライフみしま」編集スタッフ	ボランティアが中心となり、市民目線で地域の環境情報を発信する情報誌を長年にわたり発行。三島市の広報誌に挟み込む形式で、年2回市内全世帯に配布している。市民や地域における取組や活動等をクローズアップするなど、市民一人ひとりの環境活動への関心を高め、地域単位の環境活動を促進している。

令和4年度受賞者

部門		受賞者	事例概要
温室効果ガス排出削減対策部門	大企業等の部	THKリズム株式会社	全社一丸となり使用電力の削減を進めるとともに、PPAモデルによる自家消費型太陽光発電システム導入によりコストをかけずにCO ₂ を削減。グループ全体への展開も検討。
	中小企業等の部	日研フード株式会社	長期的な計画でコージェネレーションシステムを導入し、発電時の排熱を有効利用しCO ₂ 削減を実現。停電時の住民支援や工場見学の受け入れ等、設備整備の利益を地域に還元。
地球温暖化防止普及・啓発部門	学校等の部	静岡県立磐田農業高等学校	気候変動の影響を受けやすい絶滅危惧高山植物「タカネテンマ」の種子増殖プロジェクトで成果を上げているほか、地域社会に密着し果樹等を通じた地域貢献活動等を実践。
	個人・団体の部	常盤工業株式会社	自社社屋を、浜松の地域特性を生かして自然エネルギーを最大限に活用したZEB化建築物として自社設計・施工にて建設し、見学会（学生、企業、公官庁）を実施することで地域にも貢献。

令和3年度受賞者

部門		受賞者	事例概要
温室効果ガス排出削減対策部門	大企業等の部	スズキ株式会社 相良工場	排水処理施設において、高効率散気装置を導入及び、排水処理に必要な制御方法を検証することで装置の運転時間を低減させ、電力使用量削減により温室効果ガス排出量を大幅に削減。
	中小企業等の部	池戸電気株式会社	環境マネジメントシステムを運用し、様々なタイプの太陽光発電システムを設置したソーラーパークの開設及び蓄電池による停電時の電源確保と平常時の電気量削減、LED照明、高効率エアコン等の導入で省エネを達成。
地球温暖化防止普及・啓発部門	学校等の部	学校法人中野学園 オイスカ高等学校	二酸化炭素吸収源となる海岸林や広葉樹の植栽を継続して実施。中田島砂丘や浜松篠原海岸の保全活動として、堆砂垣設置競争や清掃活動と音楽ライブを組み合わせたイベントを開催し、学生や地域住民が楽しんで継続しやすい活動を展開。
	個人・団体の部	須山建設株式会社	既製品で省エネ性能が高い製品や標準仕様の断熱材を多く用いた「普段着のZEB」を開発し、施主がZEBを採用しやすい状況を創出。完成したZEBを見学会やホームページで紹介し普及啓発活動を実施。